

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立寺西小学校	校長氏名	東田 宏昭	生徒指導主事氏名	植野 勝也
-----	------------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『あいさつリレー』

取組のねらい『キーワード 自主的なあいさつ』

全校児童に、あいさつを自分からするという状況をつくり、体験させることで、自主的にあいさつをする児童を育てる。

取組の具体的内容『キーワード 全校児童があいさつ運動にかかわる』

児童会の取組として、朝、校門に立ち、「あいさつ運動」を実施してきた。そこで、その輪を全校に広めていきたいと考え、全校 37 学級が日替わりで、あいさつをアピールするカードをもち、校門に立つという、「あいさつリレー」の取組を実施した。担当学級の児童は、登校してくるとすぐに校門に行き、カードを持って並び、登校してくる児童に声かけをする。担当は 6 年 1 組から始め、高学年から低学年へとリレーしていき、後期前半終了（12 月末）までに全学級が行った。



取組の課題・創意工夫『キーワード 先生方のアイデアで楽しく』

「あいさつリレー」の方法は、各学級で工夫、応用して行うように委ねた。ある学級では、校門で「あいさつリレー」の活動を行った後、「～人にあいさつできるように、校内で頑張りましょう。」と校舎内で声をかけて回ったり、校門まで出てくるのに時間がかかる 1 年生は、廊下で元気なあいさつを響かせたりといった工夫がみられた。また、それぞれの学級で工夫したことを全体で紹介することで、効果のある活動が他の学級へも広がっていった。

取組の成果（効果）『キーワード 相手の立場になる 抵抗がなくなる』

子どもたちがこの取組を通して、先にあいさつをする側に立つことで、「あいさつをすることは気持ちいいことだ。」「あいさつをかえしてくれないといやな気持ちになる。」などに気づき、校内でのあいさつがよく返ってくるようになった。あいさつをすることの抵抗をなくすという面でもたいへん効果のある取組だった。

（以下、児童の日記より）

○わたしは、いつも朝、みんなにあいさつをしていたので、はずかしがらずできました。でも、あいさつをしてもかえしてくれない人もいて、すごくいやな気持ちになったので、これからはあいさつをしようと思いました。

○「おはようございます」わたしは、あいさつリレーのとうばんでした。あいさつをするとあいさつをかえしてくれるのでいいし、さむくなくなってあたたかくなりました。いつもの朝よりもあたたかいので、あいさつリレーのとうばんじゃなくてもいつもやりたいです。（中略）きもちのよいあいさつをする

ことはマナーです。(中略) わたしは守りたいと思いました。わたしは、休みの日でもちいきの人に出会ったらかならずあいさつをします。

今後の展開『キーワード より自主的な活動へ』

児童会から具体的なあいさつの姿を全校に提案し、進んであいさつをすることを通して児童同士や地域とのつながりを深めたり、相手を思いやる気持ちを育てたりする活動につなげていきたい。

また、自分たちのあいさつによる成長が実感できるように、地域の方からの話や児童会による全校朝会や掲示物による評価等を取り入れていきたい。

他校へのアドバイス『キーワード 工夫を広げ、評価をする場を』

全校児童が先にあいさつをする側に立つという体験は、自主的なあいさつにつながっていく。担任が学級活動の時間などを活用して、この活動にどのように取り組ませるかを、工夫させ、考えさせていくことが、この活動をよりよいものとする鍵となると考える。学校組織としても、これらの工夫を全体に広げる場や、評価をしていく場を積極的に取り入れていきたい。

平成28年 1月18日 中国新聞で紹介されました

西条の寺西小学級ごとにリレー形式

校門あいさつ
地域を元気に

東広島市西条町、寺西小の全校児童がクラスごとの「あいさつリレー」を毎朝、正門前で続けている。昨年10月に始めた運動。氷点下の朝も元気な声が学校周辺に響く。

「おはようございます」。午前7時半、元気な声が次々と響き始めた。15日の当番は6年3組の約30人。白い息を吐き、学校の前を通る住民や中高生のお兄さん、お姉さん呼び掛ける。登校して

きた下級生にあいさつしながらハイタッチする児童も。

全学年計37クラス。首から下げた「あいさつリレー」と書いた紙をバトン代わりに翌日の担当クラスに引き継ぐ。児童が地域の人に自発的にあいさつでき

いずれも6年の金本涼佑君(12)と加登彩香さん(11)は「あいさつが返ってくるとうれしい。大きな声で呼び掛けられるようになった」と話していた。

(森岡恭子)



登校する児童に並んであいさつする6年生